



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 技研興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9764 URL <http://www.gikenko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 温

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 会田 直樹

TEL 03-3398-8500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,154	48.7	318	—	301	—	238	—
24年3月期第3四半期	6,154	△1.3	△447	—	△455	—	△484	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 252百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △503百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.57	—
24年3月期第3四半期	△29.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,201	5,511	54.0
24年3月期	10,082	5,260	52.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,511百万円 24年3月期 5,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	15.0	300	337.3	280	330.0	170	452.0	10.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	16,640,000 株	24年3月期	16,640,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	263,665 株	24年3月期	258,165 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	16,379,833 株	24年3月期3Q	16,387,096 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の各項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあり、経済再生、デフレ脱却を優先するとの政府の方針が示されるなか、先行きに対する期待感も高まりつつあるものの、欧州経済の停滞に加え、世界経済を牽引してきた新興国経済の成長が鈍化するなど、世界的な景気後退が継続している影響もあり、依然として不透明な状況のまま推移しました。

建設関連業界におきましては、東日本大震災の復興需要を背景として、公共投資の堅調な推移からやや持ち直してきてはいる一方、建設資材価格の高止まりに加え、労務単価の上昇等から企業収益を圧迫する要因もみられ、予断の許さない状況が続いております。

このような環境のなか、当企業集団は、社会資本の整備・維持に携わる会社として、東日本大震災の復旧・復興需要に積極的に取り組むほか、従前より推進してきた事業分野毎の受注戦略が奏功してきた結果、受注高は11,951百万円（前年同期比38.2%増）を達成し、前年同期に比べ大幅な増加となりました。売上高は好調な受注状況を背景に、各セグメントとも概ね堅調に推移した結果、9,154百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

利益面につきましては、採算性のよい型枠貸与関連事業が伸長した結果、営業損益は318百万円の営業利益（前年同期は447百万円の営業損失）、経常損益は301百万円の経常利益（前年同期は455百万円の経常損失）、四半期純損益は238百万円の四半期純利益（前年同期は484百万円の四半期純損失）となり、前年同期に比べ黒字転換し、増収増益となりました。

当企業集団の前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間（年度）別	前期繰越受注高 （千円）	受注高 （千円）	売上高 （千円）	次期繰越高 （千円）
前第3四半期連結累計期間	2,757,769	8,648,223	6,154,778	5,251,215
当第3四半期連結累計期間	3,748,636	11,951,770	9,154,827	6,545,578

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（土木関連事業）

受注高は3,844百万円（前年同期比28.2%増）、売上高は2,694百万円（前年同期比22.1%増）、セグメント損益は154百万円の損失（前年同期は92百万円の損失）となりました。

（建築関連事業）

受注高は4,883百万円（前年同期比34.6%増）、売上高は3,730百万円（前年同期比68.1%増）、セグメント損益は214百万円の利益（前年同期は34百万円の損失）となりました。

（型枠貸与関連事業）

受注高は2,884百万円（前年同期比81.1%増）、売上高は2,302百万円（前年同期比65.9%増）、セグメント損益は449百万円の利益（前年同期は145百万円の損失）となりました。

（ハウジング事業）

受注高は278百万円（前年同期比25.5%減）、売上高は366百万円（前年同期比26.9%増）、セグメント損益は21百万円の損失（前年同期は5百万円の損失）となりました。

（不動産賃貸事業）

受注高は60百万円（前年同期比11.2%増）、売上高は61百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント損益は45百万円の利益（前年同期比65.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末（平成24年12月31日）における総資産は、前連結会計年度末（平成24年3月31日）に比べ119百万円増加し、10,201百万円となりました。これは売上債権の回収による減少があったものの、堅調な業績を背景とした現金預金の増加と販売用不動産等在庫の増加等によるものであります。

また、負債合計は、4,689百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少しました。減少した主な要因は、工事未払金等の仕入債務の支払いによる減少のほか、借入金の返済、社債の償還によるものであります。

純資産は、当第3四半期連結累計期間の四半期純損益が238百万円の利益となったこと等により、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、5,511百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上昇し、54.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、東日本大震災関連の需要や堅調な公共投資を背景に、受注は拡大傾向にあり、損益面につきましても、相当程度の上含みで推移するものと想定されます。しかしながら、工事の進捗状況、繰延税金資産の回収可能性等、現時点では見極めるのが困難な要素もあることから、平成24年11月14日に公表しました予想数値を据え置くこととし、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	818,976	1,302,435
受取手形・完成工事未収入金等	4,756,308	4,271,862
未成工事支出金	3,526	5,915
その他のたな卸資産	199,014	327,021
その他	83,246	169,926
貸倒引当金	△24,422	△24,977
流動資産合計	5,836,650	6,052,185
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,429,782	2,237,129
その他(純額)	1,484,365	1,586,481
有形固定資産合計	3,914,147	3,823,610
無形固定資産		
その他	17,400	15,943
無形固定資産合計	17,400	15,943
投資その他の資産		
投資有価証券	153,847	174,993
その他	206,794	184,265
貸倒引当金	△46,696	△49,560
投資その他の資産合計	313,945	309,698
固定資産合計	4,245,493	4,149,252
資産合計	10,082,143	10,201,437
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,868,877	1,489,986
短期借入金	1,259,836	946,931
未払法人税等	29,437	53,456
未成工事受入金	25,061	137,925
引当金	60,853	51,811
その他	281,335	477,979
流動負債合計	3,525,401	3,158,091
固定負債		
社債	391,100	334,800
長期借入金	664,788	936,281
退職給付引当金	92,834	87,527
その他	147,944	173,217
固定負債合計	1,296,666	1,531,826
負債合計	4,822,068	4,689,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,843
利益剰余金	2,667,703	2,906,294
自己株式	△31,966	△32,724
株主資本合計	5,229,577	5,467,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,497	44,106
その他の包括利益累計額合計	30,497	44,106
純資産合計	5,260,074	5,511,520
負債純資産合計	10,082,143	10,201,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,154,778	9,154,827
売上原価	5,713,971	7,894,577
売上総利益	440,806	1,260,250
販売費及び一般管理費	888,320	941,446
営業利益又は営業損失(△)	△447,513	318,803
営業外収益		
受取利息	1,272	1,553
受取配当金	5,732	4,587
受取補償金	746	233
貸倒引当金戻入額	6,904	—
その他	7,012	5,774
営業外収益合計	21,666	12,148
営業外費用		
支払利息	21,588	24,719
支払手数料	5,452	—
その他	2,882	4,713
営業外費用合計	29,923	29,432
経常利益又は経常損失(△)	△455,770	301,520
特別利益		
受取損害賠償金	—	13,370
特別利益合計	—	13,370
特別損失		
固定資産売却損	—	84,902
固定資産除却損	4,498	4,878
損害賠償金	12,000	—
その他	—	710
特別損失合計	16,498	90,490
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△472,269	224,400
法人税、住民税及び事業税	16,915	47,698
法人税等調整額	△5,168	△61,888
法人税等合計	11,746	△14,190
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△484,015	238,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△484,015	238,590

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△484,015	238,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,606	13,609
その他の包括利益合計	△19,606	13,609
四半期包括利益	△503,622	252,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△503,622	252,200
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	2,206,336	2,218,721	1,387,429	288,677	53,613	—	6,154,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	380	—	2,052	△2,432	—
計	2,206,336	2,218,721	1,387,809	288,677	55,665	△2,432	6,154,778
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△92,443	△34,250	△145,453	△5,519	27,562	△197,409	△447,513

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

(単位：千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	2,694,251	3,730,741	2,302,302	366,399	61,133	—	9,154,827
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	2,043	△2,043	—
計	2,694,251	3,730,741	2,302,302	366,399	63,176	△2,043	9,154,827
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△154,614	214,381	449,620	△21,512	45,714	△214,787	318,803

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。